京都市
CITY OF KYOTO

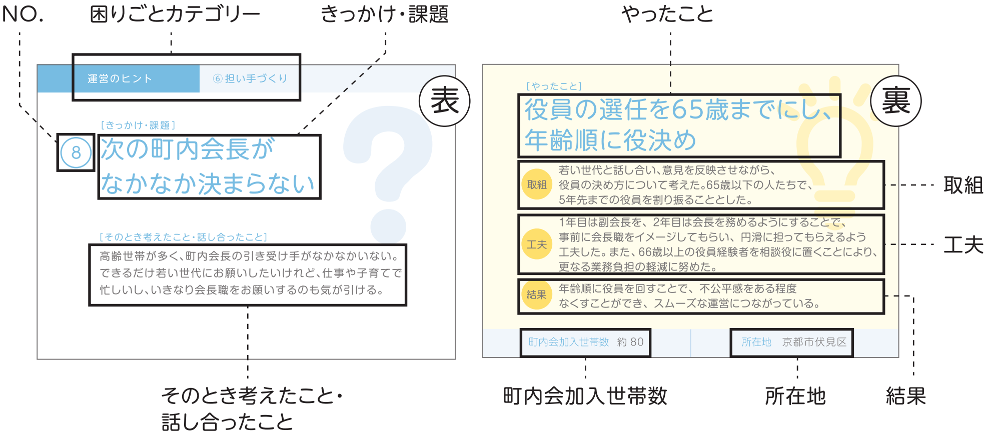
Vol.3

京都の自治会・町内会

『困ったときのヒント集』

新型コロナウイルスが第５類に移行した 2023 年、
多くの地域で、中止・縮小していた活動が再開に向かった一方、
「子どもの減少」「担い手の不足」などの課題は、
これまでと同様にみられました。
本書（Vol.3）では、地蔵盆や町内行事など、
コロナで途切れた活動の再開に関する工夫や、
住民同士のつながりづくりの事例をまとめました。
お住まいの地域をより良くするためのヒントとなり、
今後の活動のお役に立てたら幸いです。

中面の見方



困りごとカテゴリー

活動再開・継続のヒント

①親睦交流
②防災
③共同住宅
④多文化交流
⑤加入促進
⑥会費・運営費
⑦活動縮小
⑧負担軽減
⑨役員の決め方

連携のヒント

①子育て支援団体との連携
②NPO・学生との連携

地蔵盆

①関係づくり
②参加促進
③開催方法
④引き継ぎ

[きっかけ・課題]

① コロナ禍で交流の機会が途絶えた

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

以前に、小学生の保護者が中心となって
ラジオ体操を行っていた。ラジオ体操を復活させ、
住民同士の交流の機会にできないだろうか。

[やったこと]

他の町内会と合同でラジオ体操

取組

7月の子ども向けのラジオ体操を復活させ、同じブロックの９つの町内会にも呼び掛けて合同で開催した。
また近所で、高齢者向けに定期的にラジオ体操を行っており、そのメンバーにも呼び掛けた。

工夫

10回分のスタンプカードを作成し、半分以上参加した人、全日程参加した人にはそれぞれ景品を準備した。

結果

毎回30人程が参加し、様々な世代が交流する場になった。

町内会加入世帯数　約 70

所在地　京都市南区

［きっかけ・課題］

② 高齢世帯が多く、災害発生時に地域だけで支えられるか不安

［そのとき考えたこと・話し合ったこと］

各世帯の身内の方に、被災状況をお伝えできれば、
支援体制を整えやすいのではないだろうか。

[やったこと]

高齢世帯の緊急連絡先を把握

取組 敬老会の「御祝品贈呈」の機会を活用し、
70歳以上のみで暮らす世帯の緊急連絡先を把握した。

工夫 緊急連絡先は町内会役員で適切に管理し、災害発生時には
連絡ができるようにしている。
※個人情報の取り扱いについて説明

結果 高齢世帯が増えていくので、「地域の絆」をテーマに、
どうしたらつながりができ、深められるかを考えながら、
活動に取り組むようになった。

こんなヒントも!

消火器の設置場所などを記載した町内防災マップを作成した。マップづくりを通して
他の組とつながりができ、ちょっとしたことを聞ける関係になった。
また、作成にあたり実施したアンケートで、普段言う機会がないゴミの問題なども
出し合うことができた。(約120世帯、左京区)

町内会加入世帯数	約 100	所在地	京都市左京区

［きっかけ・課題］

③ マンションの入居者同士で親睦行事を実施したい

［そのとき考えたこと・話し合ったこと］

管理組合はテナントなども入る大きな組織であり、
所有者と住民が異なる世帯もあるため、住民同士で親睦行事の話ができる場をつくれないだろうか。

[やったこと]

自治会を設立した

取組

管理組合とは別に、マンション入居者が加入できる自治会を設立した。

工夫

自治会立ち上げ前に、住民同士の懇親会を開き、関係づくりから始めた。

結果

約40世帯が加入し、お茶菓子を囲んだ交流会など、親睦行事を開催している。また、高齢者が多いため、エレベーターで一緒になった時は、役員から積極的に声をかけるなど、見守りも行っている。

町内会加入世帯数　約 40

所在地　京都市山科区

[きっかけ・課題]

④ 町内に留学生の寮ができる

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

外国人が住むことを不安に思う声もあるが、
お互いに仲よくできたら、ゴミの管理や騒音のことなども伝えやすいし、
安心して暮らせるのではないだろうか。

[やったこと]

留学生を行事に誘った

取組

住民の中には外国人の参加に消極的な意見を持つ方もいたが、運動会、夏まつり、餅つきなどの地域行事に気軽に誘ってみた。

工夫

地域の方と留学生が交流しやすくなるよう、寮の管理人(日本人)も一緒に参加いただくよう声をかけた。

結果

運動会に留学生４０人が参加し、地域で一躍話題になった。留学生も、なかなか参加するきっかけがない地域行事に参加でき、大変喜ばれた。また、お互いに知り合うことで、不安が解消された。

町内会加入世帯数　約 10

所在地　京都市上京区

［きっかけ・課題］

⑤ 転入者も町内会に加入してほしい

［そのとき考えたこと・話し合ったこと］

地域の魅力に気付いてもらえれば、
加入につながるのではないだろうか。

[やったこと]

広報板で地域活動を紹介

取組

自分の住む地域の魅力に気付き、
地域活動に参加してもらえるよう、広報板に自治会のポスターを掲示し、行事を周知した。

工夫

気軽に参加して楽しんでもらえるよう、加入の可否は問わず、参加を呼び掛けた。また、活動も役員だけでやるのではなく、子どもが主役になれる行事は、親世代に任せるなど、家族で楽しんでもらえるようにした。

結果

転入者と住民の間で、顔が分かる関係、声を掛けられる関係を構築でき、町内会の加入に繋がった。

町内会加入世帯数　約 230

所在地　京都市左京区

［きっかけ・課題］

⑥ 役員の実費負担が発生している

［そのとき考えたこと・話し合ったこと］

役員は、コピー代や電話代、交通費など実費負担がある。
毎年、町内会費が繰り越されているため、有効活用できないだろうか。

[やったこと]

役員に手当を支給

取組
実費負担を解消するため、会長には5,000円、
副会長等役員には2,000円を支給した。

工夫
会費の余剰金を活用するため、
役員だけで決めるのではなく、全加入世帯の意見を
取りまとめたうえで、支給することを決めた。

結果
役員の負担の要因を１つ解消することで、
役決めの負担が減った。

町内会加入世帯数　約 90

所在地　京都市伏見区

［きっかけ・課題］

⑦ 地域活動が縮小傾向にある

［そのとき考えたこと・話し合ったこと］

地域活動が役員の負担になり、縮小してしまっている。
役員の負担を減らす方法はないだろうか。
町内には、役をするのは難しいが、地域活動を手伝うくらいならできる、と思っている方もいるようだ。

[やったこと]

お手伝いグループ「ちょこサポ」を立ち上げ

取組

地蔵盆の子ども向けゲームの企画運営や、子ども神輿の担ぎ手の補助などを担当した。
※「ちょこサポ」…希望者はだれでも登録でき、お祭りの準備や片付けなどを行っている。

工夫

事業の実施や運営に関することは自治会役員で決定し、「ちょこサポ」はお手伝いをするグループとして、自治会の構成団体の１つに位置付けた。代表者は役員会に出席し、どのようなサポートができるかを提案するようにした。

結果

回覧チラシでメンバーを募集し、現在は7人で活動している。役の負担が軽減されるとともに、やりたい人が楽しく地域活動に参加できるようになった。

こんなヒントも！

輪番で役員が替わり、毎年の行事の準備や片付けなどの負担が大きいという課題から、行事を経験した人たちでグループを作り、地蔵盆や運動会などの準備や当日の手伝いを担うようにした。コロナ禍で住民同士が交流する行事が全てストップしていたが、４年ぶりに再開できた。(約230世帯、西京区)

町内会加入世帯数　約 370

所在地　京都市伏見区

［きっかけ・課題］

⑧ 一部の組の加入世帯数が激減した

［そのとき考えたこと・話し合ったこと］

組の構成員が15世帯から4世帯に減ってしまい、
役員がすぐに回ってくるので負担が大きい。
負担を軽減する方法はないだろうか。

[やったこと]

隣の組同士で合併

取組 隣の組同士で合併し、親睦活動や役員決めを一緒に行うことにした。

工夫 組の合併について難色を示す方もおられたため、年度末に残った会費で合同打ち上げをするなど、組同士の交流の機会を持つようにした。

結果 役員が回る間隔が10年に一度に減り、役決めの負担が減った。

町内会加入世帯数　約 160

所在地　京都市伏見区

［きっかけ・課題］

⑨ 長年の慣習で役員は男性しか担えない

［そのとき考えたこと・話し合ったこと］

活動を維持していくため、一部の人に
負担がかからない方法を考えてみよう。

[やったこと]

女性が町内会長に就任

取組

これまでも実質、女性が回覧や配布の仕分け等をしていたことから、実態に合わせて、6人の役員のうち5人が女性となった。

工夫

安定して活動を続けられるよう、他の地域の工夫して取り組んでいる事例を、積極的に収集するようにした。

結果

これまでの経験をふまえて、活動を効率化することができた。
また、他の地域の事例を収集することで、新しい取組にチャレンジする機運が高まった。

町内会加入世帯数　約60

所在地　京都市中京区

［きっかけ・課題］

⑩ 子育て世帯が加入していない

［そのとき考えたこと・話し合ったこと］

親子で気軽に参加できる活動ができないだろうか。

[やったこと]

子育て支援団体と連携して花植え活動

取組 自治会の副会長が子育て支援団体の代表者でもあったことから、毎年5月に、敷地内の花壇の寄せ植えを行うようにした。

工夫 自治会加入世帯だけでなく、他の自治会の親子や、未加入世帯も参加できるようにした。

結果 近くに住む子育て世帯の交流の場になっている。

町内会加入世帯数　約 150

所在地　京都市西京区

[きっかけ・課題]

⑪ 休止している地蔵盆を復活したい

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

昔は地蔵盆を行っていたが、子どもが少なく休止となっている。
転入世帯の子どものために復活できないだろうか。

［やったこと］

学生の協力で地蔵盆を復活した

取組

町内に拠点があるNPOから「地蔵盆に関わりたい」という学生グループを紹介してもらい、昔の写真を見ながら一緒に祭壇の飾りつけを行うなど、住民以外のメンバーの関わりもあって開催できた。

工夫

大学生には子ども向けプログラムの企画運営、商店街のお店には備品やお供えの準備、NPOには会場の提供や地域での調整など、それぞれの強みを活かして関わってもらった。

結果

地蔵盆をきっかけに町内会活動も徐々に再開できた。今後も住民同士のつながりを一層深めていきたい。

町内会加入世帯数　約 10

所在地　京都市上京区

地蔵盆に関するヒント

地蔵盆って？

「地蔵盆」は毎年8月中・下旬に行われる
京都の伝統的な民俗行事です。
「地蔵盆」は京都だけでなく、関西一円、
全国各地で行われていますが、特に京都では
しっかりと残っており、「町内安全」や
「子どもたちの健全育成」を願って、
誰もが参加できる年中行事です。

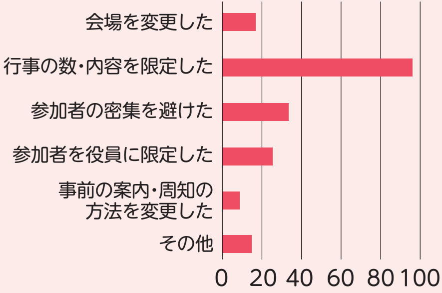
町内会あるいは町内の子ども会が運営主体となって、
町内単位に行われることがほとんどです。
運営の担い手は大人が中心ですが、鉦（かね）や太鼓などで
行事の開始を知らせる役割を子どもが担うなど、子どもも「地蔵盆」の
運営に参画することで、世代間の交流が図られています。

出典：“京都をつなぐ無形文化遺産”「京の地蔵盆」（文化財保護課）

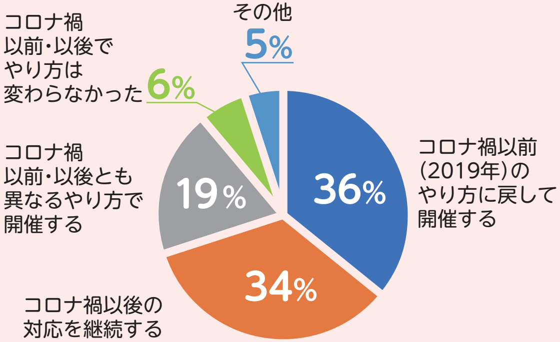
データでみる地蔵盆

回答数：185件

コロナ禍の昨年（2022年）、
地蔵盆を開催した地域では、
どのような点を工夫しましたか



今年（2023年）の地蔵盆を開催する上での
方針について教えてください



個別事情や悩みを抱えながらも、地域事情に応じて、様々な工夫をこらして開催する地域が多くあることから、地蔵盆が住民同士の関係をつなぐうえで大切にされている行事の1つであることが分かります。
次のページからは、地蔵盆を開催するにあたってのヒントを紹介します。

出典：「2023年コロナ禍明けの地蔵盆実態調査レポート」（京都大学大学院前田昌弘准教授）

[きっかけ・課題]

⑫ 地蔵盆の参加者が少なくなった

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

４年ぶりの地蔵盆は参加者が少なくなってしまった。
地蔵盆のような子育て世帯同士が交流できる場をつくれないだろうか。

[やったこと]

子育て世帯同士の懇親会を開催

取組

地蔵盆を担当する役員で話し合い、
余っていた4年分の会費を活用して、
中学生以下の子どもがいる世帯を対象とした
懇親会を企画した。

工夫

懇親会では、これからどんなことがしたいか、
など今後の活動に繋がる意見を出し合った。

結果

地蔵盆の役員は、新しい人と経験者がバランスよく
混ざった３名で担っており、翌年度の地蔵盆役員を
担ってくれる方も無事見つけることができた。

町内会加入世帯数　約 120

所在地　京都市西京区

［きっかけ・課題］

⑬ 高齢者や転入者と交流する機会がない

［そのとき考えたこと・話し合ったこと］

地蔵盆は子育て世帯が中心となっているが、
様々な世帯が交流できる場にできないだろうか。

[やったこと]

地蔵盆と同日に親睦会を開催

取組
午前中に地蔵盆を行ったあと、午後からは誰でも参加できる親睦会を開催。焼きそばや飲み物を囲んで交流するだけでなく、健康体操や水遊びの時間を作り、高齢者や子どもたちも楽しめるプログラムとした。

工夫
開催にあたって事前にお知らせを行ったが、当日にも、まだ町内会行事に参加されたことのない世帯や、転入世帯に呼びかけを行った。

結果
４月に転入されたプエルトリコ出身の方が参加してくれた。町内にスペイン語が話せる人がいることもわかり、新しい交流が生まれた。

町内会加入世帯数　約 90

所在地　京都市東山区

［きっかけ・課題］

⑭ ４年ぶりに開催したいが、これまでのやり方がわからない

［そのとき考えたこと・話し合ったこと］

地蔵盆を継承していくため、町内会未加入世帯や、
地蔵盆を知らない世帯にも参加してもらえる方法はないだろうか。

[やったこと]

アンケートを実施

取組　加入・未加入関係なく、全世帯に地蔵盆実施に係るアンケートを取り、意見を集めた。

工夫　地蔵盆の開催の意義について知ってもらうため、地蔵盆について自分なりに調べ、まとめた資料を、アンケートと一緒に周知した。

結果　アンケート結果で、過去の地蔵盆の様子や注意点を知ることができ、今年度の開催に活かすことができた。
また当日は、未加入世帯が参加してくれたり、高校生が運営を手伝ってくれるなど、地域全体で開催することができた。

町内会加入世帯数　約 100

所在地　京都市西京区

［きっかけ・課題］

⑮ 地蔵盆をもっと盛り上げたい

［そのとき考えたこと・話し合ったこと］

子どもたちにもっと楽しんでほしい。
助成金で活用できるものはないだろうか。

［やったこと］

京都市の助成金（※）でアトラクションを増やした

（※）地域コミュニティ活性化に向けた地域活動支援制度：自治連合会や自治会・町内会などが実施する、情報発信事業や交流・協働事業などの自治会・町内会等の加入率向上に繋がる活動に対し、事業費の一部を助成している

取組 パフォーマーを呼んで、地域住民、特に子どもが楽しめる各種アトラクション（バルーンアート、マジックショー、落語、ジャグリング…）を実施した。

工夫 地蔵盆を呼びかけるチラシに、他の行事や町内会の活動内容を記載し、地蔵盆以外の活動にも関心をもってもらうようにした。

結果 一部のマンション住民が地蔵盆に参加してくれるようになった。また、区民運動会や防災訓練の参加率も上昇している。

町内会加入世帯数　約 140　｜　所在地　京都市左京区

[きっかけ・課題]

⑯ 地域にお地蔵さんがない

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

お地蔵さんがなくても、地蔵盆のように子どもたちが楽しめる
地域行事を開催したい。
地蔵盆に代わる催し物を実施できないだろうか。

[やったこと]

夏まつりを実施

取組

保護者世帯が担っている子ども会が中心となり、
お地蔵さんの代わりに、小さいお地蔵さんの置物と額を飾り、
1日がかりで夏まつりを実施した。

工夫

ビンゴゲームは、時間を区切って5〜6回に分け、
参加人数を調整した。企画も準備も楽しんで
担ってもらえるよう、町内会は子ども会の取組や
進め方を見守るようにした。

結果

町外に住む外孫も参加できるようにしたところ、
約60名が参加し、来年も開催してほしいという声が寄せられた。

町内会加入世帯数　約 60

所在地　京都市左京区

[きっかけ・課題]

⑰ 長年地蔵盆が開催されていない

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

地域には高齢者しかおらず、お地蔵さんも近所のお寺に預けたままになっている。
子どもの頃に経験したような、子どもから高齢者まで、みんなで楽しめる地蔵盆を復活できないだろうか。

[やったこと]

近隣のマンション住民にも呼び掛け

取組

子どもが多く住むマンションの住民と意気投合し、
合同で地蔵盆を開催することにした。

工夫

マンションに住む子どもだけでなく、
外孫や近所に住む子ども、通りがかりの外国人など、
誰でも参加できるようにした。
また、大学生ボランティアに紙芝居やゲームを準備してもらい、
子どもたちの思い出作りに協力してもらった。

結果

マンションから約20名の子どもが参加し、
住民同士の交流の機会となった。
参加した子どもたちには、大人になったら地蔵盆を
手伝ってもらえるよう、関係を続けたい。

町内会加入世帯数　約 10　　所在地　京都市中京区

［きっかけ・課題］

⑱ 子どもは少ないが地蔵盆を開催したい

［そのとき考えたこと・話し合ったこと］

「地蔵盆は子どもが主役」という先入観を持たずに、開催してみてはどうだろうか。

[やったこと]

大人が楽しめる地蔵盆を開催

取組

数珠回しや読経に、大人が参加できるようにした。
また商店街の酒屋や氷屋にも出店してもらい、
ビールやかき氷等の飲食も楽しめるようにした。

工夫

初めて参加する人にもちょっとした
買い出し等を頼むことで、一緒に開催している意識を
もってもらうようにした。

結果

住民の約8割、50人程が参加し、子どもも大人も一緒に
地蔵盆を楽しんだ。隣町の住民からも、参加したいという
声が上がるほど盛り上がった。

町内会加入世帯数　約 40

所在地　京都市北区

[きっかけ・課題]

⑲ 行事の引継ぎが大変

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

手書きの引継ぎ資料の作成や写真の現像は、時間がかかり大変である。効率的に当日の様子を伝えられる方法はないだろうか。

[やったこと]

行事の資料をデータで保管

取組

地蔵盆の準備や片付けも含めて３日間の予定や準備物を、すべて一覧表にしてデータで保管するようにした。

工夫

どこで何を買うか、いつ誰が準備するか、備品はどこに保管されているか、どこに何を設置するかなど、詳細に記録している。

結果

コロナ禍では子どもたちにお菓子を配るだけにしていたため、４年ぶりの開催となったが、以前と同じ形で、ゲームや飲食などの催し物を復活でき、久しぶりに住民同士が顔を合わせる機会を楽しめた。

町内会加入世帯数　約 230

所在地　京都市西京区

子どもも大人も楽しむ

ビールや焼きそばを囲んで、大人同士が気軽に交流できる雰囲気を作りました。

子どもの景品と家庭用の景品を分けて準備しました。

子どもは水遊びの時間、高齢者は健康体操の時間をつくりました。

独居の高齢者にも顔を出してもらえるよう、当日に参加を呼び掛けて回ります。

数珠回しは、子どもも大人も参加しています。

子ども向け行事は子ども会で、大人の交流は町内会で、役割分担して準備しています。

様々な住民が参加しやすい

外孫も無料で参加してもらえるように、予算を立てています。

ファミリー世帯が多い近隣のマンションにも呼び掛けています。

宗教行事なので行けないという方でも参加しやすいよう、お供えではなく、寄付として活動費を集めています。

町内会未加入者や外孫の方にも気兼ねなく参加してもらえるよう、町内会費で賄うのではなく参加費を頂いています。

転入世帯にも分かりやすいよう、任意で頂くお供えはやめて、全員会費制にしました。

町内の状況に合わせて見直す

子どもが少なくなったので、景品は年齢を問わないものに変えました。

午後に学区の夏祭りでゲームができるので、町内ではお経や数珠回し、お菓子配りを中心に行いました。

町内の子どもの人数が減ったので、町内で話し合って、親族のお子さんも参加OKにしました。

誰でも組み立てやすい祭壇に変えました。

コロナ禍では活動を縮小しており、貯金があったので、話し合って大提灯を新調しました。

運営の負担を軽くする

手作りの飲食を囲んだ交流をやめて、お参りの後に近所のお店で親睦会を行いました。

回覧でお手伝いを募集したら、経験者が来てくれました。

子どもたちの遊びのプログラムは、学生さんに協力してもらいました。

回覧に載せたQRコードから申し込んでもらい、メールアドレスも集約できたので、連絡の手間が軽くなりました。

特定の人に仕事が集中しないよう、分担して準備しています。

コロナ禍明けで再開した

年に１回、町内の人の顔が見える機会なので、近況報告なども兼ねて続けています。

交差点の角にあるお地蔵さんは交通安全の意味もあるので、町内全員でのお参りは続けています。

役員の負担が大きいので中止のままでよい、という意見もありましたが、子どもたちのためにやりたい、という声で復活することになりました。

子どもは少ないのですが、高齢者同士のコミュニケーションの場として開催することにしました。

転入世帯と知り合える機会がなかったので、復活しました。

次世代に引き継ぐ

準備するものの一覧表や祭壇の写真などを残しています。

地蔵盆の歴史などを資料にして、町内会員全員に配っています。

お参りすることの大切さを知ってほしいので、お参りが終わらないとお菓子がもらえないプログラムにしています。

企画や運営は保護者世代に任せ、年配者は協力に回っています。

子どもたちの好みが変わるので、おやつはお母さんたちに選んでもらっています。

熱中症対策

例年より開始時間を１時間早め、7時ごろから準備しました。

今年の予算で遮光ネットを購入しました。

できるだけ暑い時間帯を避けるため、朝にお参りをして一旦解散し、夕方再集合して懇親会をしました。

例年10時から15時に開催していたのですが、1日目18時～21時、2日目10時～12時にわけて開催しました。

その他

地蔵盆がないマンションの子どもも参加できるよう、学区少年補導委員会主催の地蔵盆を開催しました。

地蔵盆を開催しない町内会もありますが、子どもたちに経験してもらうため、2学区の民生委員が合同で地蔵盆を開催しました。

自治会主催の夏祭りは中止となりましたが、子どもたちのために女性会と老人会が協力して、小規模な夏祭りを開催しました。

世帯数が少ないので、隣の町内会と合同で地蔵盆を行っています。

京都市　自治会・町内会＆ＮＰＯ
おうえんポータルサイト

https://chiiki-npo.city.kyoto.lg.jp/

「京都市　自治会・町内会＆ＮＰＯおうえんポータルサイト」では、
地域で工夫して取り組まれている事例を随時更新しています。
本書に記載のヒント以外にも、自治会・町内会の運営に
役立つ情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

京都市　自治会・町内会　事例　検索

京都の自治会・町内会は、世帯数や成立ちなどによって状況が異なり、困りごとも様々です。地域コミュニティサポートセンターでは、それぞれの地域の個性・特性を大切にし、地域の状況に応じた取り組み方を一緒に考えていきます。
お気軽に当センターまでご連絡ください。

地域コミュニティサポートセンター

TEL：075-222-3098

FAX：075-222-3042

E-MAIL：chiikizukuri@city.kyoto.lg.jp

区役所・支所

北区役所	TEL:432-1208	山科区役所	TEL:592-3088	西京区役所	TEL:381-7197
上京区役所	TEL:441-5040	下京区役所	TEL:371-7170	洛西支所	TEL:332-9318
左京区役所	TEL:702-1029	南区役所	TEL:681-3417	伏見区役所	TEL:611-1144
中京区役所	TEL:812-2426	右京区役所	TEL:861-1264	深草支所	TEL:642-3203
東山区役所	TEL:561-9114			醍醐支所	TEL:571-6135

京都市♥地域コミュニティ活性化

発行：地域コミュニティサポートセンター
（京都市文化市民局地域自治推進室）

令和６年５月発行　京都市印刷物第 063024 号